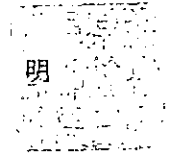


笠建第 392 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

笠松町長 広江 正明



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平素は笠松町行政にご支援またご協力賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼がありました標記のことについて別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岐阜県羽島郡笠松町

地方の道路整備は財源がなく、災害に対して効力がある道路、また、まちづくりに欠かせない、街路事業が進まず停滞している状況で、更に、道路を維持していく予算確保もままならない状況にあります。

また、当町の場合、面積的な都市規模が小さく、町内で都市計画道路が完結しているところ（つまり、道路の起点・終点がともに町内にある）ケースが少ないため、基本的に当該路線の、町外部分の整備時期との連続性を図る必要があります。

今後はその地域性をよく考慮にいれ、他の市町と協議し道路の建設を行っていくよう計画しなければなりません。

その為には各種国の道路補助事業が絶えることがないよう財源確保を強く要望するものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

② —1 地域の現状と抱える課題

岐阜県羽島郡笠松町

○現状

- ・安全・安心で住みやすいまちづくりのため、災害に強く、拡大する生活行動圏に対応した道路網の整備、各ライフステージに対応できるようバリアフリー化を進めているが、財源確保が難しく、早期整備が図れない。
- ・当町は狭あいな道路が多く、また、東西を結ぶ道路整備が進んでなく、町内の車移動がしにくい道路形態である。

○課題

- ・下水道整備事業をはじめ公共施設の耐震化などの多様化する行政ニーズへの対応で財政を圧迫する要因が多く、財源の確保が困難である。
- ・道路整備の優先順位付けの為に道路評価の確立
- ・道路の幅員が狭あいであり、地震や火災などの災害時における被害の拡大が懸念され、防災対策面での基盤整備を行うことが課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

② ー2 地域の目指すべき将来像

岐阜県羽島郡笠松町

都市計画道路や幹線道路整備計画を着実に進め、市街化を更に促進し、福祉施策と連携し、どのライフステージでも安全・安心ですみやすい町の強化による、産業、文化、情報が行き交う都市として、また、木曽川の自然を生かしたまちづくりや、災害安全性に優れた都市化を将来像として推し進めたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岐阜県羽島郡笠松町

○重点事項 ・ バリアフリー化による安全対策と少子高齢社会に対応した環境づくりによる、潜在顧客数（定着人口）の増加 ・ 便利で快適な道路づくり	○代表事例 ・ 名鉄笠松駅前周辺バリアフリー事業 ・ 街路事業・幹線町道整備計画事業	○期待する効果や評価等 ・ 各ライフステージに対応する都市環境づくりにより、人口増加、良好な住環境。 ・ 各道路の利便性を増幅し、市街化の促進 ・ 歩行者の快適性・安全性や生活環境の向上
---	--	--